

# Q&A 「第5回 ビブリアバトル・インターナショナル・オオクボ」

## 1. 「ビブリアバトル」ってなんですか？

「知的書評合戦」といわれているゲームです。公式サイトもあります  
(<http://www.bibliobattle.jp/>)。つぎのように進めます。

### 【ルール】

- ① 本を紹介する人が、読んでおもしろいと思った本を持って集まります。
- ② 順番にひとり5分間で本を紹介します。
- ③ それぞれの発表のあとに、その本の内容について質問などを2分間おこないます。
- ④ すべての発表が終わったあとに、「どの本がいちばん読みたくなったか？」の投票を、参加者全員で一票を入れて、いちばん多く集まった本を『チャンプ本』とします。



## 2. 大久保図書館ではどのようにおこなうのですか？

- 本を紹介する人を、日本の人5人、そして外国の人を5人募集します。
- エントリーした日本の人5人と外国の人5人をシャッフルして、5人1組で2グループつくりまます。1グループで1ゲーム、休憩をはさんで、もう1グループで1ゲームをおこない、それぞれのグループで『チャンプ本』を決めます。終了後は、懇談会もおこないます。

## 3. 外国の人は、本を紹介するときに使う言葉は、何語ですか？

たいへんかもしれませんが、日本語です。またノー原稿、ノーレジメです(メモをちょっと見るぐらいはいいです)。とにかく本を読んだ思いを、その人らしく表現します。以前にあったことですが、ブラジルのミュージシャンの方が、ポルトガル語で書かれたボサノバの

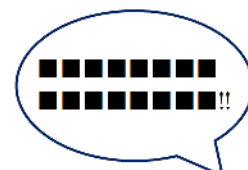
ほん しょうかい も じかん うた うた かいじょう  
本を紹介していましたが、持ち時間で歌を歌いだしました。でも、これも「OK」です。会場  
ばくしょう うず  
は爆笑の渦でした。

#### 4. 紹介する本は、小説などの読みものではないといけませんか？

えほん しゃしんしゅう がいこくご ほん にほん はつばい あら  
絵本、マンガ、写真集、外国語の本でもOKです。たとえば、日本で発売されていないアラ

びあご か ほん ぜんかい かた ねばーるご か  
ビア語で書かれた本でもOKです。前は、ネパールの人が、ネパール語で書かれた

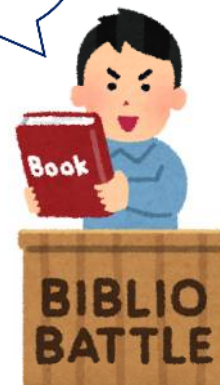
しょうせつ きんか かいじょう きょうみしんしん  
小説で参加をし、会場は、興味津々で聞いていました。



#### 5. 趣旨をおしえてください。

ひと とお ほん し ほん とお ひと し びぶりおぼとる しゆし  
「人を通して本を知る、本を通して人を知る」がビブリオバトルの趣旨ですが、

くわ ほん とお こくさいこうりゅう  
これに加えて、「本を通しての国際交流」をめざしています。



#### 6. ほかに知っておくことはありますか。

がいこく ひと ていど にほんごりよく ひつよう にほんごすびーちこん  
● 外国の人にとっては、ある程度の日本語力が必要になりますが、日本語スピーチコン

てすと りゅう にほんご はつびよう にほんご  
テストのように、流ちょうな日本語で発表をするものではありません。また日本語の  
のうりよく きそ  
能力を競うものでもありません。

● ハプニングは、しょっちゅう起こります。

ことば じかんはいぶん さいしよ  
言葉につまってしまう、時間配分をまちがえる・・・、はあたりまえ。最初にかんたんに

じ こしょうかい ぶんはん ほん びよう はな  
自己紹介するつもりが、4分半もしやべってしまい、本のタイトルだけ 10秒だけ話した

ぜんぶ  
おばあちゃんもいます。でも、全部「OK」です。

● 本が好きな人の集まりです。後ろのほうで、観覧しているだけでも「OK」です。

き おおくほとしよかん と  
※お聞きになりたいことがありましたら、大久保図書館にお問い合わせください。